

自働車ニテ麻布ノ宿所ヲ奔レ西ヶ原ナル古河本宅ニ
至リ夫人ニ面會ヲ求メタルモ病氣ノ故ヲ以テ拒絶セラレ
新海重役並大本執事ニ面會シタルモ要領ヲ得ス午后
一時退去シ丸ノ内本社ニ到リ労働主任氏家貞ト會
見シ代表者ヨリ生活ノ慘状將來ノ不安等ヲ陳情
シ此間毛利ヨリ如キハ大声ヲ拳ケテ泣涕スル等非劇
ヲ演シ社長ニ面會ヲ求メテ止マス仍テ重役昆田文次郎
代テ會見シ来意ヲ社長ニ傳達スヘキヲ約シ慰撫シタル
ニ彼等ハ之ヲ諒トシ退出セリ斯ル内ニ下記ノ如ク足尾
ニ於テ勞資両者ノ妥協成立シタルヲ以テ上京委員
一行ハ十九日午後一時四十分上野駅弁列車ニテ全員
退京セリ。

一 罷業煽動

製煉所ニ於テハ從來三個ノ熔鑛爐ヲ使用シ来リシニ四月
十四日晚ヨリ罷業者續本シ一個ノ熔鑛爐ヲ使用スルニ至レル
カ右ハ元製煉職工ニシテ聯合會本山支部製煉部副部
長ツリレ橋本某カ今田ノ爭議ニ参加シ麻生等ノ演說中
「製煉所ノ煙カマダ止マラス」ト言ヒシヲ動機トシ十四日午
後三時本山支部製煉部會員大會ヲ催シ自ラ議長ト
ナリ約百四十名ノ會衆ニ對シ同盟罷業レテ應援セヨト
煽動シ之レカ決議ヲ為シタル結果同夜ヨリ罷業ヲ決行
セルニ由ルモノニシテ橋本外関係者十九名ヲ召喚取調タリ
一不穩印刷物配布